

新潟ヒルクライムの大会中止と実行委員会の解散について

新潟ヒルクライムは、自転車を活用し、岩室温泉街から弥彦山を駆け上がるタイムトライアル競技として2013年に始まり、これまで12回開催してきました。

壮大な越後平野や日本海など風光明媚な新潟の魅力を再確認できる機会として、男女問わず幅広い層の皆さまにご参加いただき、県内外からのリピーターも見られるなど多くの方から楽しんでいただきました。

また近年は、「パワーランチ」と称した岩室温泉街の特製昼食を提供したほか、宿泊施設とのコラボキャンペーン、参加者の安全を考慮した集団下山の実施など、参加者にとって「楽しく・安全に・思い出に残る大会」となるよう、実行委員会として創意工夫を重ねてまいりました。

一方、新潟ヒルクライムにおける走行距離の短さや急勾配による競技の特殊性から、年々参加者が減少傾向にあるほか、実行委員会や競技運営に携わる人材も減少し、「参加者ファースト」の大会運営を継続することが難しい状況となっていました。

このため当委員会では、大会を休止し、持続可能な大会運営のあり方について協議を重ねてまいりましたが、従来どおり大会を継続することは困難との結論に至り、このたび大会の中止と実行委員会の解散を決定いたしました。

2013年の初開催以来、長きにわたりご参加いただいた皆さまをはじめ、協賛・後援各社、ボランティアスタッフ、関係機関、地元住民の皆さまから賜りました温かいご支援とご理解に、心より感謝申し上げます。

令和7年12月18日

新潟ヒルクライム実行委員会